

財政状況のあらまし

令和4年度下半期 (令和4年10月1日～5年3月31日)

※令和5年3月31日現在

持続可能な行財政運営の推進

最終予算額 774億7,406万5千円

市では、皆さんから納めていただいた市税をはじめ、地方譲与税や国・都からの補助金および交付金などの財源がどのように使われているかをお知らせするとともに、市政運営に一層のご理解とご協力をいただくため、毎年2回(上半期、下半期)財政状況を公表しています。

令和4年度予算については、新型コロナウイルス感染症により大きく変化した生活を的確に捉え、危機からの回復のため、ポストコロナの新しい生活様式の実践とともに持続的な成長基盤の構築に向けた予算とし、市民満足度の一層の向上に取り組んでまいりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症および原油価格・物価高騰対策をはじめ、子育て環境の充実、学習環境の整備等の重要課題への取り組みに、多額の財政調整基金の取り崩しや前年度繰越金を活用しており、依然として厳しい財政運営となりました。

今後も財政規律を緩めることなく、多様化・高度化する市民ニーズに的確に応えるため、より一層行財政改革を推進していきます。

一般会計

市税を主な財源とし、学校施設の改善や改修、道路の整備、緑地・公園用地の取得、集会施設などの建設や改修、教育や福祉、ごみ処理など市が行う事業の大部分を賄う会計です。(図1)

下半期の主な建設事業としては、市営住宅浴室改修工事、梶野公園整備工事、小金井保育園0・1歳児トイレ改修工事などを行いました。

特別会計および公営企業会計

市には、特定の事業を行うため、一般会計とは別に、国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療の3つの特別会計および下水道事業会計の1つの公営企業会計があります。(表1、表2)

市債

公共施設の建設などを積極的に進めていくうえで必要な財源として、国や都、金融機関などから長期にわたって借り受ける財源を市債といいます。市債の内訳は図2のとおりです。市民一人当

り、13万7,085円の借金があることになり、これを前年同期と比較すると、8.6%の減となります。

市有財産

市が保有している財産には、庁舎や学校などの土地、建物、そのほか、物品や基金など多くの財産があります。(表3)

市有財産の現在高は、986億8,741万6千円となり、前年同期と比較すると2.7%の増となりました。

一時借入金

歳出予算で定められた経費を支出するとき、不足する現金を補てんするため、短期的に借り入れる現金をいい、出納閉鎖日(5月31日)までに返済しなければならないことになっています。

令和4年度下半期は、一時借入金はありません。

◇共通◇

問 財政課財政係 (☎042-387-9802)

図1 一般会計の執行状況

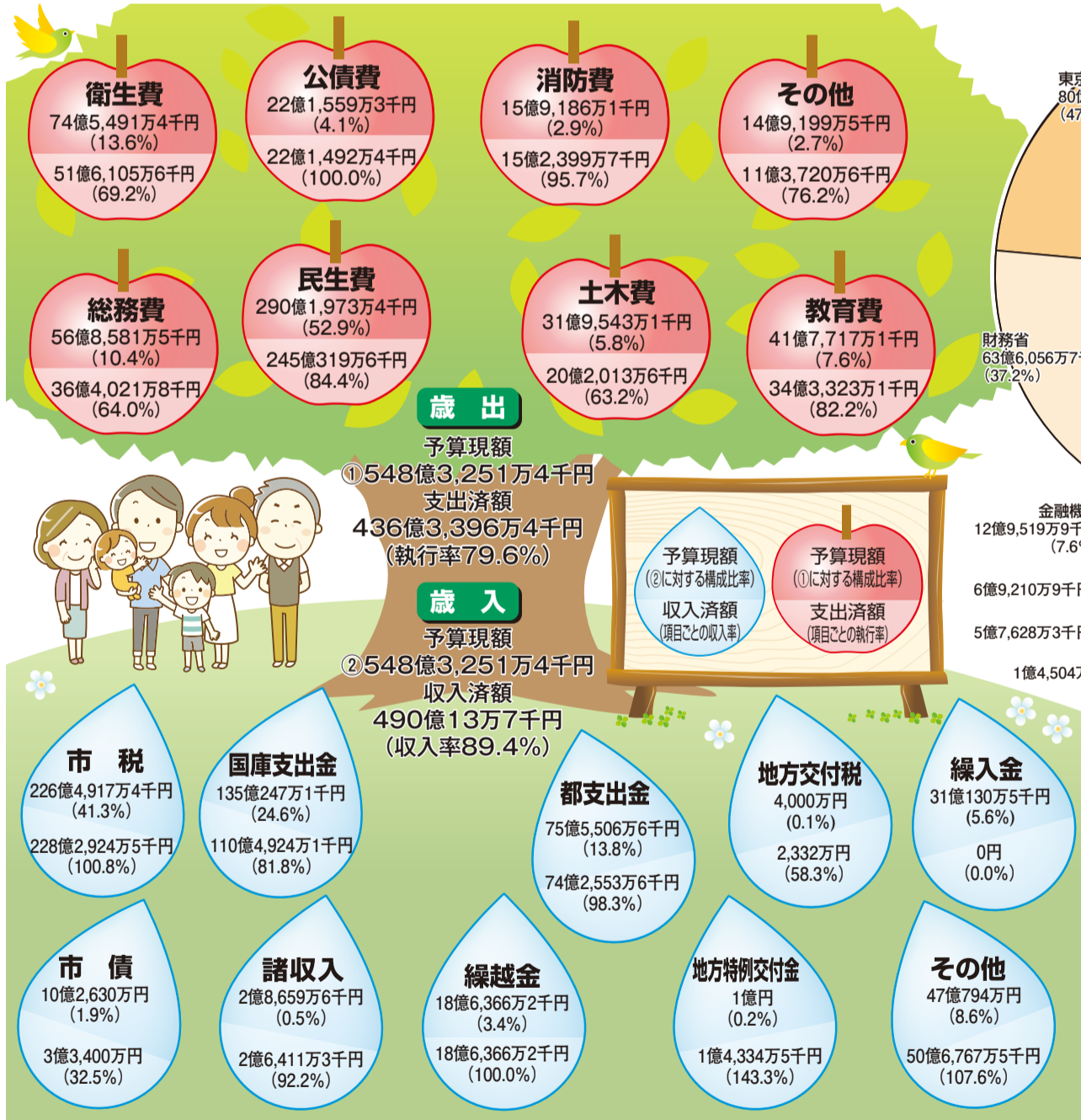


表1 特別会計の執行状況

区分	予算現額	収入済額	収入率	支出済額	執行率	前年同期比
国民健康保険特別会計	107億5,049万円	102億3,567万3千円	95.2%	100億9,422万3千円	93.9%	0.5%減
介護保険特別会計	89億1,841万5千円	86億8,515万1千円	97.4%	80億2,755万1千円	90.0%	1.6%増
後期高齢者医療特別会計	29億7,264万6千円	29億7,626万7千円	100.1%	29億2,711万5千円	98.5%	13.0%増

図2 市債の内訳

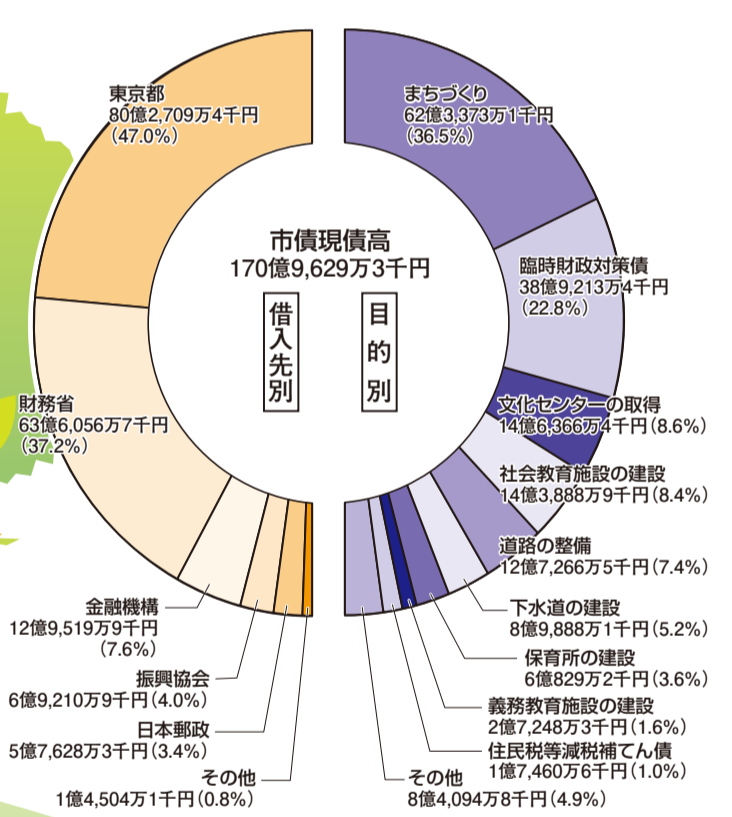


表2 公営企業会計(下水道事業)の執行状況

	収入	支出
予算現額	21億1,613万7千円	24億7,109万3千円
執行額	20億7,172万9千円	23億3,719万9千円
執行率	97.9%	94.6%
前年同期比	1.2%減	0.5%増

表3 市有財産の状況

資産	金額
土地	527億2,844万5千円 (349,679.28㎡)
建物	284億7,408万1千円 (168,519.72㎡)
構築物	5億4,105万9千円
有価証券その他権利	5,418万4千円
物品	18億2,120万5千円
基金	150億6,844万2千円